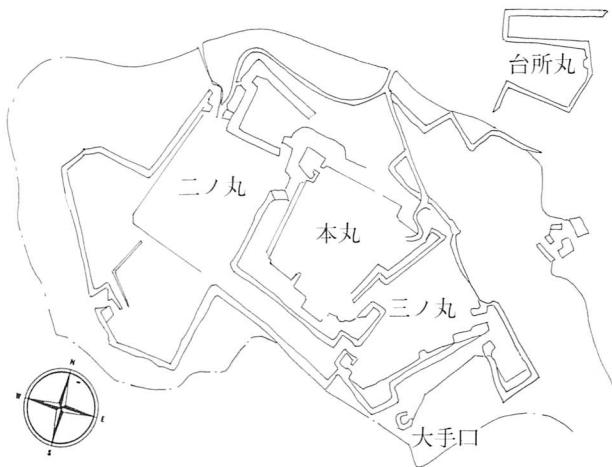


# 北部九州の近世初期城郭石垣をめぐる諸問題

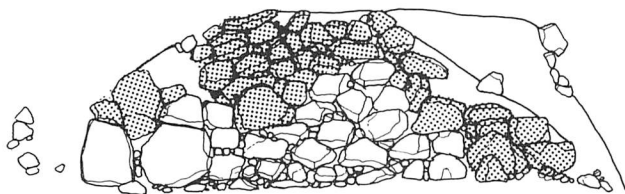
— 肥前名護屋城跡を中心に —

佐賀県立名護屋城博物館 宮 武 正 登

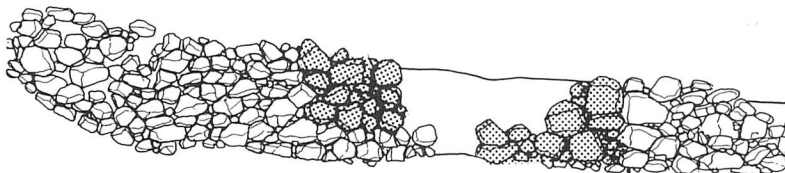
1. 問題の所在
- (1) 城郭石垣に関する研究動向
- ①石垣形状分析・構造論
- ・・・・石垣構造技法の追求と類型化
- ②石垣機能論
- ・・・・石垣使用法の追求と築城主体の意図の考察
- ③その他
- ・・・・石垣技術系諸論（石工集団の動向と存在形態）
- (2) 名護屋城石垣の素材として
- ①の視点より→工法の具体的内容の追求
- ・使用石材の規格化の問題
- ・土木工法上の特性（曲輪造成工法上の特性）
- ②の視点より→城郭部位での使用形態
- ・意匠的要素の発生と定着
- ・・・・構成石材の加工度の偏差、巨石の使用
- ・石垣構築箇所の遍在性の意味
2. 中世城郭から近世城郭への変化の中での石垣の使用形態
- (1) 原城・・・・本丸のみ総石垣（文禄～慶長年間前半か）
- (2) 梶谷城・・・・本丸のみ総石垣（文禄～慶長初頭か）
- 在地系技法の石垣と近畿系技法の石垣が混在
- (3) 清水山城・・・・二ノ丸、三ノ丸南東端での近畿系石積み技法（文禄年間）の駆使（本丸未改修）
- (4) 角牟礼城・・・・大手方向外縁部での近畿系技法の多用（慶長年間初頭か）。
- 本丸での石垣使用箇所の遍在性
- 【主郭部改造型（①、②）と城郭外縁改造型（③）】



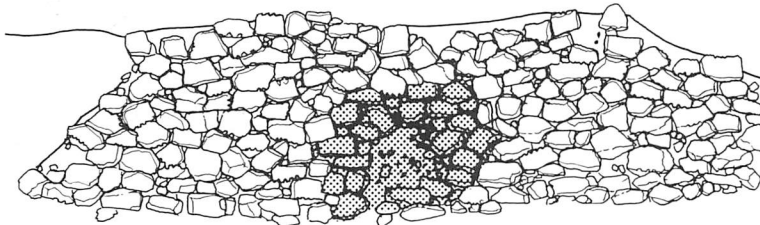
第40図 名護屋城平面図



①名護屋城跡三ノ丸南西隅櫓台・北面石垣立面図



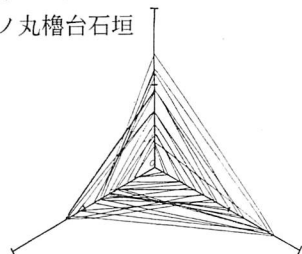
②名護屋城跡搦手口外 腰曲輪石垣立面図



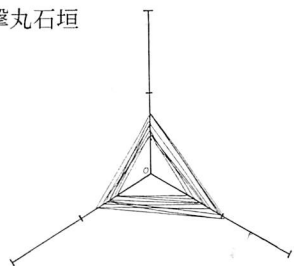
③名護屋城跡遊撃丸北辺石垣立面図

石垣構成石材寸法データ

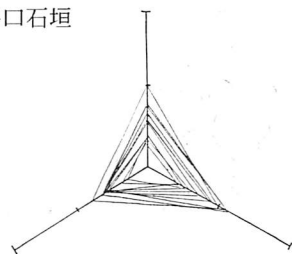
1.三ノ丸櫓台石垣



2.遊撃丸石垣



3.搦手口石垣



第41図 石垣立面図・石材寸法データ